

平成 21 年 2 月 13 日  
NPO 法人  
心に響く文集・編集局  
代表 茂 幸雄

## 福井県・東尋坊の水際での自殺防止活動

### 1 自殺の現状

未だ日本の経済力は世界第 2 位とされていますが、その経済繁栄の裏には自殺者過去 10 年連続 3 万人があり、WHO から先進国の中での突出が指摘されています。

この自殺行為は、日本人としての性格だけに依るものではなく、この日本の社会的な構造にも起因していると思われます。

日本国内における「自殺を誘発している場所」として、「東尋坊」や「青木が原の樹海」などがあり、鉄道にあつては「近畿日本鉄道や西日本旅客鉄道」などがありますが未だこれらの場所における自殺防止対策は遅れていると思われます。

### 2 福井県・東尋坊の現状

東尋坊は、日本海に突き出た海拔 25 メートルほどの断崖絶壁が繋がる景勝地です。しかし悲しい事には別名「自殺の名所」との不名誉な名前が付けられており、日没時間になると岩場から日本海に向かって多くの人が飛び込み自殺をしています。

付近には 50 軒ほどの土産店が立ち並ぶ出店商店街となっていますが、観光客が引く午後 4 時ごろになるとゴーストタウン化し人影もまばらになります。

しかし、この時間帯になると北は北海道から南は鹿児島まで、人生に疲れ、生きる望みを失って終焉の場所として岩場に立った人は「お父さ~ん・・・!」「お母さ~ん・・・!」と叫んで日本海に向って飛び込んでおり、別名、日本の「バンザイクリフ」とも呼ばれています。

この地を管轄する福井県坂井西警察署の調べによると、東尋坊での自殺者数は過去 30 年間に 643 人、ここ 10 年間で 257 人が亡くなっており、自殺未遂者として保護されている人の数は年間 70 人以上で、私達の活動数字を加えると年間 150 人以上の方が全国から真剣に自殺を考えて遣って来ている場所になっています。

### 3 東尋坊での効果的な対策

- ・ 「サポートセンターの設置」
- ・ 「パトロール隊員の配置」
- ・ 「相談所の案内看板設置」
- ・ 「危険場所の排除」

などの対策を採れば、多くの尊い命が助かるものと考えられます。

### 4 活動開始の動機

人生の「崖ヶ淵」いわゆる「死の淵」に立ち、この世に未練がなくなり、強い決心を持って東尋坊へ遣って来た人は、例え観光客の目前であっても岩場から飛び込んでしまいます。

しかし、岩場に立った瞬間に死が怖くなり、又はこの世に対する未練が蘇った人で片道切符で来ている人は他人に助けを求められず、内心で助けを求めながら岩場をさ迷って歩いているのです。

この人の命は「救う事の出来る命」です。

「まだ、死にたくない・・・!」

「誰か助けて欲しい・・・!」

「出来るものなら、もう一度、人生をやり直したい・・・!」

と叫んでいるからです。

このことを知った私達は、民間の手でも出来ることはやるべきだとの思いから立ち上がって仲間を募り（現在の会員数 77 人）、水際に私費を投じてサポートセンターを設置して、車で約 1 時間かかる遠い福井市内から毎日のように通い詰めてパトロールを実施し、遭遇者に対する各種の支援を行う自殺防止活動をしています。

### 5 救助対象者の形態

- ・ 海拔 25 m ある日本海に突き出ている岩場の最先端に立ち、じ〜っと海面を見詰めている人
- ・ うっそうと茂る松林の中にあるベンチで、独りで考え事をしている人
- ・ 戸締りされた土産屋さんの軒先で、独り日本酒のワンカップを苦々しく飲んで泣いている人

など、こんな人達を発見したら声掛けをし、人生相談に乗って再起するための各種支援活動を行っています。

### 6 私達の活動概要

- ・ パトロールの実施
- ・ 遭遇者に対する各種支援活動
- ・ 家出人捜索願の受理や自殺企図者(遭遇者)の発見・保護活動
- ・ 講演、手記の出版など

## 7 具体的な活動内容

平成16年4月27日から平成21年2月12日までの約4年10ヶ月間に177人の自殺企図者と水際で遭遇してきており、自殺を食い止めるために以下の各種の支援活動をしてきました。

- ① カウンセリングの実施（悩み事・人生相談などに対応）
- ② 家族・会社等への送り込み（問題解決のための仲裁に一役）
- ③ 警察での保護依頼や犯罪被害者としての事件引継
- ④ 福祉関係機関への付添い
- ⑤ 生活ボランティア宅への送り込み（当面の生活支援の仲介役）
- ⑥ 法テラスなど財務処理団体への付添い
- ⑦ 再就職のための付添い
- ⑧ その他

県外居住の当会員による、送り先の居住者に対するその後のケースワーカーの実施、 etc

## 8 我々の活動に対する地元の見解

私達は、東尋坊での自殺を1人でも無くしたいとの思いからこの活動をやってきましたが、地元自治体や観光協会は

- ・ 観光地のイメージが悪くなる
- ・ 全国から自殺志願者を呼び寄せることになる
- ・ 自殺未遂者を保護することにより地元行政の財政負担が多くなる

等の理由から反対されており、お願いをし続けていますが今のところ地元自治体や観光協会からは何の支援も得られていません。

しかし「人の命の大切さ」については粘り強く訴え続けてきたことから徐々に理解を示してきており、この活動開始時には地元民による月1回の清掃を兼ねたパトロールであったものが、私達の呼びかけに応じて週3回の巡回となりました。また、一昨年の6月に福井県に「自殺ストレスー防止対策協議会」が立ち上がりましたが、その会員にも我が団体が推挙されており、今後の県の施策にも反映される機会を得ています。

## 9 国内外の反応

- ・ 私達のこの活動が行政施策に反映されればとの思いから、一昨年に施行された「自殺対策基本法」の成立に向けた県内外での署名活動や、同大綱作りの研究会にも参加しました。
- ・ 私達民間人の手で「自殺対策シンポジウム福井県大会」を主催・開催し、広く県民の理解を求めてきたほか、現在「いのちの電話」「自死遺族の会」の開設に向けて奔走しています。
- ・ 全国から寄せられている講演依頼にも応じています。
- ・ 私達と遭遇した 177 人との遭遇事例を「自殺対策速報」として纏め、地元自治体や関係機関に逐一報告しています。
- ・ 活動内容を紹介した手記  
「心に響く文集～勝たなくてもいい！負けたらアカン！」（私費出版）  
「東尋坊～命の灯台」（太陽出版社）  
「自殺したらアカン！東尋坊のちょっと待ておじさん」（三省堂）  
を出版しています。
- ・ 国内、外(米国、英国、ドイツ、フランス、オーストラリアなど) のマスコミ取材にも対応しています。

## 10 私達の目標

民間人にでもできる

「美しい日本の創造」

「再チャレンジができる日本の創造」

に向けて積極的に取り組んでおり、一地方からの発信基地として

- ・ 人生“諦め”たらアカン！
- ・ 東尋坊は、人生のスタートラインです・・・！
- ・ 東尋坊から人生再チャレンジを・・・！

を提唱し、「美しい日本・東尋坊」として再生出来ればと思っています。

私達のこの活動は、自殺者 3 万人の数から見ますとほんの僅かかも知りませんが、東尋坊で「助けて欲しい・・・！」と叫んでいる人がいる限り、私達は水際のこの活動を続けていきたいと思っています。

以上